

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 466

所管部局	農林商工部	所管課	商工観光課	担当者名	大谷 洋史
事業名	中心市街地商業活性化事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	中心市街地商業活性化事業			政策体系	362
会計	一般会計	科目	7.商工 - 1.商工 - 2.商工		

1. 事業の概要

NPO法人にぎわいコンソーシアム園部の発足に合わせて、担い手となる人材育成、市民参画を得るためのフォーラムの開催などNPOと共に進めるにぎわいの市街地事業を行う。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

衰退傾向にある中心市街地の再生に取り組む事で、都市機能と経済の拡大再生産できるようににぎわいの市街地を実現する。

② 事業を実施する必要性

中心市街地の持続的発展はまちづくりの根幹であり、豊かな市民生活の向上に欠かせないものである。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円				209	500	0	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	0	0	0
	国・府支出金	千円			0	0	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0
	一般財源	千円			209	500	0	0
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.57			
人件費	千円	—	—		3,731			
事業費総額	千円	—	—		3,940			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

にぎわいカフェミーティング開催経費 208,931円
 (NPOとの共催)

5. 事業結果の概要

市民の持つ中心市街地のイメージとこれからの中心市街地に求められるイメージを調査し、にぎわいの創出に向けワークショップを行った。
 「にぎわいに関する市民の声」を聞く、「新たなコミュニティづくり」、そして「にぎわい創出の人材育成」といった成果が得られた。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
1. にぎわいかフェミーティング園部		
NPOと協働で、行政や市民の声を聞く場。まちなかで臨時のカフェを開き、和やかな雰囲気の中で園部の課題や、夢を語り合い、その夢の中から実現できるものを探るミーティング。	平成21年10月～平成22年3月	延べ64人参加
2. 町家フォーラム		
市民と共に地域資源として町並みや古民家を生かしたまちづくり・街のにぎわいを考えるフォーラム	平成22年1月～3月	現状の把握、課題の洗い出し、情報の共有を行い、今後の活動継続を確認。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

本年初めての取り組みであり、衰退化する公共性・公益性の高い中心市街地の持続的な発展を目的とした事業で、担い手人材育成、市民参画を得るためNPO法人「にぎわいコンソーシアム園部」と共に、まちづくり、にぎわいづくりに何が必要か、市民の声を聞き市民が提案する場づくり『にぎわいかフェミーティング園部』等の取り組みは有効であった。

今後は中心市街地のもつ、ひと・もの・歴史文化などの地域資源を利活用したまちづくりと商業振興の両面から中心市街地のにぎわい創出を具現化する。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

--